

事業所名

放課後等デイサービス キラキラ沖野

支援プログラム

作成日

2025年

3月

11日

法人（事業所）理念	安心、安全に、且つ利用者の発達段階にきめ細かく対応した支援を行う環境を整える		
支援方針	保護者様からのニーズ、利用者ご本人からの要望に合わせて、個別支援や小集団支援（2～5名）、集団支援（全員）を組み合わせた支援を行い、子どもたちの発達を見守ります。		
営業時間	学校日 学休日	10 9 時 00 00 分から	19 17 時 00 00 分まで
	送迎実施の有無	あり なし	
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	登所時における健康状態の確認を行います。朝ごはんを食べられたか、睡眠時間は十分かどうか等、子どもたちと一緒に確認します。 衣類の脱着やその後の片付けを一人できるように見守り、必要に応じてサポートします。 トイレで排泄ができるように声掛けを行い支援します。 子どもの状態に合わせた食事支援を行います。食具を上手く使えない子どもには使えるようにサポートし、一人で食べられる子どもには食事のマナーが身につくよう支援します。	
	運動・感覚	集団支援、個別支援、遊びを通して自分の身体の使い方を習得できるよう支援します。具体的にはダンス、鬼ごっこ、体操、手押し車、平均台渡り等をプログラムに取り入れ、自ら楽しく取り組む活動として楽しみながら習得することを目指します。また、その際、感覚過敏や感覚鈍麻の特性がある子どもへも配慮し環境を整え支援します。	
	認知・行動	集団支援、個別支援等レクリエーションを通し空間・時間・数等の習得ができるように支援します。具体的には、連想ゲーム、爆弾ゲーム、お手玉、しりとり、風船バレー、亀積み等をプログラムに取り入れ、楽しく習得することを目指します。	
	言語 コミュニケーション	個別支援や小集団支援を取り入れ、また言語聴覚士監修のプログラムを行うことで、コミュニケーションを図ることができるよう支援します。 発語が発達段階の子どもには、絵カードやジェスチャーを用いて意思の疎通ができるように支援します。 子どもが自発的に話すことに正面から向き合い、会話が楽しいことを感じてもらえるよう、また逆に言葉は相手を傷付けることがあることを伝え、正しい言葉を選んで使えるよう支援します。	
	人間関係 社会性	一人遊びでは得られない、集団で遊ぶことの楽しさを実感できるよう支援します。遊びはルールが単純な物、また、目的（ゴール）が分かりやすいもの、例えば室内では見立て遊び、施設外では買い物体験や公共の乗り物を利用しての外出などを行い、仲間だけでなく社会にも目を向けられるよう支援します。 アンガーマネジメントを取り入れ怒りのコントロールができるように促し、他者との円滑な関わりを習得できるよう促します。	
家族支援	連絡帳や送迎引き渡し時、ライン、電話等の連絡ツールを用い、いつでも困りごとに対応できる環境を整えます	移行支援	放デイ利用前の施設、卒業後に利用予定の施設への情報共有、提供を行います
地域支援・地域連携	施設周辺の清掃活動を通して地域の一員であると感じられるよう配慮します	職員の質の向上	所内研修を定期的に行い、質の高い支援を行える人材育成に努めます。また必要に応じて外部研修への参加も行います。
主な行事等	入学・進級お祝い会、お花見、調理レク、夏祭り、運動会、避難訓練、年末大掃除、クリスマスパーティ、初詣、節分、卒業お祝い会		